

城北



平成 28 年 7 月 1 日 現在
 総世帯数 3,520
 総人口 7,668
 男 3,662
 女 4,006

見聞地区 徒士町町会 武家の街並が残る町

住民皆が世代を超えた交流を

町名

「おかちまち」は通常「御徒町」と書きます。松本では「徒士町」と書いて「おかちまち」と読みます。資料によれば一時期「御徒士町」と書かれたましたがその後「徒士町」と改称され、読みだけが「おかちまち」として残ったようです。

江戸時代

当時、武士は職分によって居住地が定められていました。火急の事態が発生したときの対応が迅速にできるように配慮されていたことです。戸田康長が松本城主になったとき（今から約 400 年前）に安原町横町を西に延長して徒士屋敷を建てたそうです。だから町名には 400 年の歴史があるわけです。

かつての徒士町には 40 戸ほどの武家屋敷があり、町の東

西に木戸番があつた

そうです。当時の様子を残す建物として高橋家住宅がありま



す。長野県内でも貴重な江戸時代中期の武家屋敷で松本市重要文化財に指定されています。

土、日、祝祭日(冬は日曜日のみ)に無料で一般公開されています。

近年の生活

徒士町は昭和 40 年頃までは、何でも揃う商店街でした。八百屋、魚屋、雑貨屋、パン屋、



うどん屋、酒屋、クリーニング店、生花店、薬局、たばこ店、ブリキ屋、建具屋、風呂屋等が軒を並べていました。しかし近くに大型スーパーが出来て商店街は衰退し、しだいに住宅地が変わっていきま

したのですが 8 年ほど前に撤退し、突然買い物弱者の町になりました。特に食品の買い物が困難になってきました。そこで徒士町の住民が中心となって朝市を始めました。週 1 回の開催で魚や、生鮮食品などを並べ、買い物の後お茶を飲んだり話をしていく方も多く、地域の憩いの場としても定着して行きました。昨年 3 月惜しまれて休止状態になりました。町会の活動としては昭和 30 年後半から月 1 回、徒睦会(男性の会)が、昭和 60 年頃から花寄り会(女性の会)が続いていましたが、現在は解散し、新しく高齢者から子供まで誰もが参加できる「いちようの会」を立ち上げました。ソーメン流し、焼き芋、そば、餅

つきなどの集まりで町内の交流を深めています。町会では毎月 15 日と年末に組の順番で火の用心の巡回を続けています。



子ども会育成会主催 自然観察会

6 月 26 日、子ども 23 人、大人 9 人が参加しました。6 年生がリーダーとなり 3 班に分かれ元気いっぱいの出発です。車中はビンゴゲームを楽しみました。

松川村の「国営アルプスあづみの公園」に着くとパークボランティアに案内を案内してもらいました。櫛の林では「ここには株立ちの木がたくさんあります。また石積み跡もあり、どうしてでしょう」と問いかけ「ここは昔、炭焼きをした所でその痕跡が残っているのです」とわかりやすく説明してくれました。

古代の遺跡がたくさん出たという草原にも行きました。ここでは石器や土器などとともに巨大な石列が見つかっており、太陽の方向で夏至や冬至などを見分ける仕掛けであったということです。北アルプ

スの餓鬼岳もこの仕掛けの基準に使われていたそうです。

その後は決められた色を探すネイチャーゲームで大草原の中を走りまわって探し、車中のビンゴゲームの景品選びも行われ、盛りだくさんの午

前の部が終了しました。お昼は木陰で家から持ってきたお弁当を広げました。

午後は帰りまでたつぷり自由時間を楽しんだ後、ロードトレインに乗って入園口まで戻りました。こ



こではリーダーの「班のみんなにアイスクリームを買ってあげる」という最後の重要な任務がありました。参加者の方から「大きい子が小さい子の面倒をみる良い練習の場にもなっていますね」と感想が聞かれました。

ひろば事業

銭太鼓の講習会

6月27日は4回講座の最終日で、20人の受講生が晴れて修了しました。講師は寿地区ひろばコーディネーター山内智恵子さんです。

講習会を開くきっかけは、一昨年寿公民館に視察に行った際、ひろばの取り組みの一つの銭太鼓の演奏を聴き、わが城北でもやりたいという意見が出たのが始まりです。昨年は銭太鼓の作り方も教えてもらい広場委員のボランティア部会が中心になって40組の銭太鼓を作りました。

銭太鼓はバチで叩く太鼓ではなく、30cmほどの筒の中にワイヤーで銭（城北のは替わりにワツシャー）を取り付けてあり、筒を振るとシャンシャンと銭が鳴るしくみです。2本一組で両端についた紅白のフサがきれいなんです。この日は「サザエさん」と「東京ラブソディー」の2曲を習いました。曲により振り付けが違うので、皆先生の方を見ながら必死で覚えま



す。筒を手のひらの上で回転させたり、2本を空中に互い違いに投げて受け取ったりと難しい技もあります。みなさん難なくこなしていました。

最後にお互いの演奏を見学して練習成果を披露しました。音楽のリズムと皆の動きがピッタリそうとう気持ちも一つになったような感じがします。

音楽に合わせて楽しく体を動かし、適度な頭の体操で健康維持にとっても良さそうです。今後はサークル活動に移行しますので興味ある方はお問い合わせください。

送迎利用で



気軽にひろばへ

6月30日、城北福祉ひろばで「第9回送迎ボランティア交流会」が開かれました。

ひろば事業の「井戸端会議」「レストラン夢」「喫茶なごみ」「ふれあい健康教室」の参加者と送迎ボランティアのみなさん26人が歌やゲームを楽しんだ後、会食しました。

「ひろば事業に参加したいが家が遠い、足が悪くて行けないなどの方々のために車で送迎できれば」と発足し、現在16人が登録されています。ひろばの利用者からは「送迎ボランティアのみなさんのおかげで毎月楽しく遊ばせてもらっています」という声が聞かれました。

発起人の佐藤明彦さん（新田町）は「ひろば事業はだれでも気軽に楽しく交流できます。送迎を活用して、多くの皆様の参加をお待ちしています」と呼びかけています。

いちごの風



5月28日
旭町小学校運動会



6月26日
子ども会育成会



6月21日
よろず大学



6月11日
マレットゴルフ大会

5月29日
開智小学校運動会

6月12日
パノラマ夏祭り



6月19日
蟻ヶ崎北町会運動会